

第 40 回クラシックを楽しむ会

2017 年 1 月 15 日 (日) 18:00~ (2 時間 35 分、休憩除く)

タイトル：**歌劇「ボエーム」(プッチーニ)**

会場等：メトロポリタン歌劇場

2008 年 4 月 5 日

楽団等：メトロポリタン歌劇場管弦楽団、合唱団、バレエ

指揮：ニコラ・ルイゾッティ

演出：フランコ・ゼッフィレリ

出演：アンジェラ・ゲオルギウ：ミミ

ラモン・ヴァルガス：ロドルフォ

リュドヴィク・テジエ：マルチェッロ

オーレン・グラドウス：コッリーネ

クイン・ケルシー：ショナール

アイノア・アルテータ：ムゼッタ

ポール・プリシュカ：アルチンドロ

他



ロドルフォが「冷たい手を」を歌ってミミに自己紹介

アンジェラ・ゲオルギウ

1965 年、ルーマニア生まれ。世界中の一流歌劇場で活躍を続けている。テノール歌手のロベルト・アラニャは元夫。

ラモン・ヴァルガス

1960 年メキシコ・シティ生まれ。21 世紀で最も評価の高いテノール歌手の一人。なお、本公演の前年 (2007 年)、ヴァルガスとゲオルギウはミラノ・スカラ座の「椿姫」でも共演している。

アイノア・アルテータ

1964 年スペイン・バスク地方生まれのソプラノ歌手。世界中の一流歌劇場で歌っている。97 年のメト来日公演では (ゲオルギウの代役で) ミカエラを歌った。

リュドヴィク・テジエ

1968 年フランス マルセイユ生まれ。歌唱力と整った風貌、独特の眼力で人気のバリトン歌手。

その他 **グラドウス**はニューヨーク・ブルックリン生まれのバス歌手、**ケルシー**はハワイ原住民出身バリトン歌手。**プリシュカ**はペンシルバニア出身バス歌手。

ニコラ・ルイゾッティ

1961 年イタリア・ルッカ生まれ。現在サンフランシスコ・オペラの音楽総監督、東京交響楽団首席客演指揮者。



ゲオルギウ



ヴァルガス



アルテータ



テジエ



ルイゾッティ

第 41 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：**歌劇「蝶々夫人」(プッチーニ)**

3 月 12 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

待望の演目、2016 年 12 月 7 日ミラノ・スカラ座開幕公演。蝶々夫人はウルグアイ生まれ新進マリア・ホセ・シーリ、ピンカートンは若手人気テノール歌手ブライアン・ハイメル、指揮はリッカルド・シャイー。

4 月以降、「マノン・レスコー」、「皇帝ティートの慈悲」、「トゥーランドット」などを予定。